

デザインが奇跡を起こす [著]水谷孝次

[掲載]2010年1月31日

[評者]梶山寿子 (ジャーナリスト)

■「思ったら飛べ！」の精神一貫

仕事とは何か。幸せとは何か。そんな問いに対する、著者からのメッセージが詰まった書。

前半に展開するのは絵に描いたようなサクセスストーリーである。70年代に広告デザインの世界に飛び込んだ不器用な青年が、がむしゃらな努力と情熱で道を切り拓(ひら)く。会社のゴミから仕事を学ぶなど、その執念は相当なもの。やがてダメ社員は、名だたる賞を総なめにするアートディレクターに。「気迫があれば運を呼び込める」というポジティブ思考と、いい意味の鈍感力に時代の勢いを感じる。

だが、バブル景気に乗って富と名声を手にしたものの、「ここは僕が若いときに目指した場所なのか？」との疑問が。商業主義に虚(むな)しさを覚え、社会に希望を与える仕事をしようと、ソーシャルデザインの道を歩み出す。99年に始めた「MERRY PROJECT」はその象徴だ。世界中で撮影したMERRYな笑顔のパワーで人々をつなぎ、平和や希望をデザインする。愛知万博や北京五輪開会式でも反響を呼んだこのプロジェクトに、著者は自身のMERRY(幸せなこと)を見いだすのだ。

デザインも働き方も、時代とともに変化する。彼の半生はそれを浮き彫りにするが、一貫しているのは数々の奇跡を生んだ「思ったら飛べ！」の精神だ。「『できない』言い訳ばかりしている」今の日本に元気をくれる一冊。「お金はないが愛がある」人生が輝く。



デザインが奇跡を起こす

著者：水谷 孝次

出版社：PHP研究所 価格：¥ 1,470

この商品を購入する [👉](#) | [ヘルプ](#)

- ▶ [Amazon.co.jp](#)
- ▶ [セブンネットショッピング](#)
- ▶ [楽天ブックス](#)
- ▶ [紀伊國屋書店BookWeb](#)
- ▶ [本やタウン](#)